

総合工学委員会原子力安全に関する分科会
福島第一原発事故調査に関する小委員会
第24期・第9回 議事録

令和1年5月9日
作成 澤田 隆

1. 日時 令和1年5月9日(木) 10:00~12:00
2. 場所 日本学術会議5階 5-B会議室
3. 出席者 松岡委員長、白鳥、関村、柘植、成合、矢川、宮野、山本、吉田、澤田幹事
(越塚、中村欠席)
4. 配付資料
 - 資料1 前回議事録案
 - 資料2 提言4報案 Rev.0
 - 資料3 提言4報案へのコメント
 - 資料4 規制の在り方関連資料
5. 議事
 - 1) 前回議事録の確認(資料1)
 - ◎ 特にコメント等なく承認された。
 - 2) 提言4報案 Rev.0に関する議論(資料2)
 - ◎ 初めに吉田委員より資料の概要の説明があった。
 - ◎ 下記の意見・議論があった。
 - 提言の相手は誰か? 原子力だけでなく広く社会にということであれば「産業」は狭すぎるのでは?
 - 原子力に限定して提言をまとめ、それが他分野にも適用可能とするのが良いのでは?
 - (原子力以外の)過去の大事故の事例に提言が適用できる(提言を適用していれば事故は防げた筈)という説明を加えると良いのでは。
 - タイトルの「我が国における」は不要ではないか。
 - 2章のタイトルに合うよう2(5)のタイトルは見直す。
 - 2(1)~2(4)の本文はエッセンスだけとし、詳細は付録に記載する。
 - 3(1)は大学や学術会議についても記載する。対応する「要旨」も同様。
 - 3(2)は「規制の在り方」の資料との関係も含めて要検討。
 - ◎ 上記の意見・議論を踏まえて次回までに吉田委員が資料を改訂することとした
 - 3) 規制の在り方について(資料4-1~4-3)
 - ◎ 関村委員より資料4-1の説明があった。

- ◎ 下記の意見・議論があった。
 - 規制委員会に対する提言とするより、(事業者も含む) 規制の在り方に関する提言とする方が良いのでは。
 - 原子力界以外の方が分かり易いよう、用語の提議(解説)を充実させる必要がある。
 - 防災の扱いを検討する必要がある。
 - 安全研究の資金源について言及すべきではないか。
 - 人材育成に関し、産業界との人事交流の重要性、給料の問題にも言及すべきではないか
 - 米国の規制について参考資料に記載するとよいのではないか。
 - IRRS のフォローアップに間に合うように仕上げる工程を進める。

◎ 上記の意見・議論を踏まえて次回までに関村委員が資料を改訂することとした

4) 次回 2019年6月20日(木) 15:00~17:00

以上